

# ECC アーティスト美容専門学校 学校関係者評価委員会 報告書

学校法人山口学園 ECC アーティスト美容専門学校 学校関係者評価委員会は、2025 年 2 月 28 日に学校関係者評価委員会を開催しましたので以下のとおり報告いたします。

2025 年 3 月 14 日

学校法人山口学園  
ECC アーティスト美容専門学校  
学校関係者評価委員会

- 1 開催日時：2025 年 2 月 28 日（金）17:00～18:30
- 2 場所：ECC アーティスト美容専門学校（2203 教室）
- 3 参加者：13 名  
学校関係者評価委員（「ECC アーティスト専門学校 学校評価実施規定」選出区分）

## 【関連業界等関係者「同第 12 条第 1 項（1）」】

大久保 紀子 氏（一般社団法人 ジャパン・ビューティソッド協会 JBMA）【委員長】  
荒川 悠子 氏（株式会社ガモウ関西）  
河合 捺菜美 氏（株式会社クラフト・ワークス）

## 【卒業生「第 12 条第 1 項（2）」】

松田 裕香子 氏（ECC アーティスト美容専門学校卒業生）【都合によりご欠席】  
中野 りか 氏（ECC アーティスト美容専門学校卒業生）

## 【保護者または地域関係者「第 12 条第 1 項（3）」】

中上 隆雄 氏（済美地域社会福祉協議会 会長）  
原田 道子 氏（ECC アーティスト美容専門学校在校生保護者）

## 【その他校長が必要と認める者「第 12 条第 1 項（4）」】

貴治 康夫 氏（立命館高等学校）

## 【同席者】

中村 竜二 ECC アーティスト美容専門学校 学校長  
川添 雅英 ECC アーティスト美容専門学校 副校長  
長尾 邦光 ECC アーティスト美容専門学校 キャリアセンター責任者  
山崎 ひろみ ECC アーティスト美容専門学校 入試課責任者  
松岡 佑治 ECC アーティスト美容専門学校 事務局・教務課  
磯部 満理奈 ECC アーティスト美容専門学校 専任教員

令和6年度第2回学校関係者評価委員会では、①第1回学校関係者評価委員会にて頂いたご意見・ご指摘への対応状況の報告、②2024年度の学校運営に関する報告、③2025年度の学校運営方針に関する報告、そして、それぞれの報告事項に対する参加委員様からの意見・質疑応答という形で議事を進行。

### ①第1回学校関係者評価委員会にて頂いたご意見・ご指摘への対応状況の報告

#### 自己評価報告書の基準1・基準4に関わる部分：コンテストや検定などに対するモチベーションの醸成、中長期的キャリアビ ューの形成

日常的取り組みとしての目標達成シートの活用、イベントへの積極的参加策としての学生会を通じた学生同士の参加、校内放送、サインージ、授業内での作品制作意義の説明、学修成果発表会での振り返りなどを報告。

#### 自己評価報告書の基準5・基準6に関わる部分：連携に積極的ではない保護者の対応、インターンなどの教育環境の整備

保護者連携の強化として、前期、後期の保護者会（専門課程・高等部共通）、高等部・入学前の保護者・担任・教務課による面談、内部進学説明会の実施を報告。インターンシップについて、事前教育の時期を改善、春期休暇中に実施を計画中、実施計画・事例をコース会議で共有していく点を報告。

#### 上記の報告について、各委員のご意見・ご感想・質疑

コンテストなどへの参加モチベーションはむずかしい課題。クラス、グループ参加賞を設けることで、参加することへのモチベーションに繋げるなど考えている。保護者連絡が取りづらく、親子関係が芳しくないなど、本人との関わりが重要になってくる。その場合、色んな大人と関わる（スクールカウンセラーなど）、ピアサポートなど、学校にいる意識作りが重要。

結果は少し先に出るものなので、色々取り組んでみるのが良いのでは。保護者の連携も重要だが、本人との向き合い方も重要。愛情をかけていることに関して十分ということはないなと人事として感じる。

いろいろな取組の中で、取捨選択されているのが良い、すぐに対応されているのは良いと感じる。良いものは残す、結果を踏まえて見直しながら進めていただければ。

一生懸命取り組まれている。目標達成シートの作成、入学時に書いた上で、それを見直させる、思い出させるのは良い。Eコレは良い仕組み、高等部の学生には見せるのは良いのではないかと。保護者との連携、高校では必ず4者懇談を実施している（養護教諭、カウンセラーなどが+1）。今後も充実させていただければ良いのではないかと。

【回答】Eコレは高等部は、実際に見せていて、3年生には出場する予定。

至れり尽くせりな気がする。それがどこまで学生・保護者に響くか、引き続き頑張りたい。

親が学校に行く機会を設けて頂ければ、関心を持つようになるかな。20歳を超えてくると大人だからとあまり干渉しなくなるので、難しい年代になってくる。学習成果発表会は、私は見てみたい。学校から連絡をもらうのは、すごくうれしい。SNSもいつも見ている。

自分の学生の頃を思い返している。目標達成シートの取り組みは良い。初心を振り返ることは重要。コミュニケーションをとっていくことがやはり最重要なのではないかと。

### ②2024年度の学校運営に関する報告

#### 広報・入試課からの報告

2025年度入学予定者の募集状況について説明。

#### 教務課からの報告

教育の質の向上や学修成果主義に基づき2024年度に実施した教育活動について動画等を用いながら説明。特に、2024年度はコンテストでのグランプリ・入賞、全日本理美容学校対抗ネイル選手権団体優勝など、学外から評価を受けた点を説明。進級・卒業率については、改善傾向にあるがまだ高い水準である点を報告。また、本格的に再開した海外研修の実施状況を説明。最後に、高等部について海外研修の実施状況、検定結果、学外コンテスト入賞実績について報告。

#### キャリアセンターからの報告

2024年度卒業生（2025年3月卒業）の内定状況について説明。化粧品業界で大きく採用が回復した点、特区を利用した留学生の美容師就職など各業界動向について説明。訪日外国人の増加に伴う英会話力に対するニーズの高まりについて報告。

#### 上記の報告について、各委員のご意見・ご感想・質疑

学生でこれまで作成出来ることに驚きを感じている。

アンケート結果が良かったのは、コンテストの結果と今までの授業の成果が学生たちもしっかりと繋げているということではないか。コンテストに多く出ていくのは良いこと。言語化は難しいこと、自分の気持ちを伝えるのを難しいケースがある。自分が何を思っていたのかを言葉に出来ること、振り返ることが出来るのが素晴らしい。ECC の学生は上を目指す学生が多い、IBP といったプログラムが将来につながるよという点をしっかりと伝えていくと良いのでは。

弊社主催のコンテストは西日本エリアの学校が参加、チーム制。1000 人以上を超える学生がいる中での準グランプリ。2025 年度の作品撮りでも良い作品が出てきていた。プロにも見て欲しい。HM2 年生の撮影機会に、3 年制が教えに来てくれていた。非常に良い機会だと思う。言語化出来る方が少ない中で、言語化スキルは非常に重要。個別には言えても、全体に伝えるということ意識することは重要。学生アンケートの結果の良さの理由はあるか。

【回答】何か大きなところはないが、中間評価という機会で自分の到達度を測るので成長を知れる。教員にとっては気が重い機会だが、学生からのコメントを受けて毎回改善を考えている。

この結果の良さの要因が分かればもっと良いと思う。GEA も ECC らしさなので良い。海外研修の復活も良かった、多くが韓国から始められることが多いですが、イギリスでもやっていて、学生の満足度も高いようで、続けていただければ。特区についても、もっと情報を出せるようにしていきます。

何が出来るようになったのかを自分の言葉で伝える。その力は英語に繋がる。まずは日本語で何を伝えるかが大切。コンテストは基本的に団体が多いですか。

【回答】個人が多いが、グループのものもある。高等部の E コレはグループで実施している。

高等部からコンテストに出していくのは良い、外部から認められることで自己肯定感を高めることが出来る。GEA のコンテスト、いつも見せてもらっているが感心している。外国人観光客が増えている中で、そういった場で活躍出来る学生が増えて行ってくれば良い。

この地域での美容室の増加、外国人の増加が見えて感じる、その中で英語が出来る美容師が求められるのではないか。

このコンテストは自由参加なのか。先生方が良いのだなと思いました。人前で話すことってというのは難しい、そういった点を教えていただければ。保護者として学校のことが知れて嬉しい。

言語化出来ることは重要。自分の考えもさらに付け加えることが出来れば、より良いのではないか。フリーランスで働いていて、国家資格は重要。中国語なども求められるのが当然、そういったことを検定などとして残すことが出来れば良いのではないか。

### **③2025 年度の学校運営方針に関する報告**

報告事項として、2025 年度の学校運営方針について説明。

### **最後に、2024 年度学校関係者評価委員会を終えて委員様からの感想**

自分自身の勉強にもなっている。現状の改善だけでなく、少し先を見据えての取り組みをされている。少しでも参考になっていれば良いなと感じている。非常に真摯に取り組んでおられる。

ECC の学生との関わりが多い。授業、アルバイト、就職など。良い子が多く、優秀な学生が多い、その子たちがどういった教育を受けているのかを見ることが出来て、楽しかった。改善を繰り返していくことで良い学校になっているのだなと感じた。

より良くしようと思つての委員会。保護者の方、卒業生の方の意見が新鮮。なかなか関わることのない保護者の方の視点は学べる。引き続き美容業界が魅力的になるように頑張っていきます。

中身が進化していている。時代の経過の中で、美容の業界も変わっていることを学んだ。

学校として、自分が学んできた時代と大きく変わったと感じる。ECC の先生方が熱心に教育されたことが学生にどのように響き、どのように成長されていくか楽しみにしている。

学校のことが分かって楽しい。他の保護者の方も知りただろう。

SNS で見ている学校を中に入れてみる機会となって非常にうれしい。

**2024 年度・学校関係者評価委員会でのご意見を踏まえて、2025 年度は下記の通り学校運営を行ってまいります。**

学校関係者評価委員会では、毎回委員の方々より、本校の教育活動、運営における課題に対し客観的な視点から専門的な多くのご意見、提言をいただいております。

今後はいただいたご意見、提言を真摯に受け止め、「美容業界で長く活躍できる人材育成」という目標達成のために、教育の質保証、学修成果の向上を目指し、改善に努めて参ります。

今年度は在校生の保護者にも委員会にご出席いただき、保護者視点でのご意見をいただくことができ、これまでにない観点での意見交換にもなりました。25 年度は保護者会を 10 月に追加開催し、学生生活や就職状況など保護者に見ていただける機会を増やし、学校や担任との接点を増やしていくように努めます。

24 年度は教育の成果として、各種コンテストで団体優勝や個人のグランプリ獲得など、企業様に評価していただくことが多かった年です。コンテスト対策授業も各コースにて充実してきた成果であり、今後も学生のモチベーションや学修成果として、コンテストに取り組むカリキュラムを設定し、本校としても各コースの強みとしていきます。

また、美容業界は日々進化しており、コロナ以降でも美容業界としての改革が進められていることを委員の皆様からもご意見をいただきました。学校教育も「美容業界で長く活躍する人材育成」を教育目標に、美容業界のニーズを把握し、日々アップデートして運営やカリキュラムに反映していきます。

上記項目の具体的な取り組みを次回の学校関係者評価委員会で提示してまいります。

以上